筑摩書房版『現代の国語』（現国712）内容の特色

|  |  |
| --- | --- |
| **教科書名** | **調査の観点** |
| **（１）内容** | **（２）構成・分量** | **（３）表記・表現および使用上の便宜** | **４）その他** |
| **➀知識・技能** | **②思考力・判断力・表現力** | **③言語活動** |
| **現代の国語（現国712）** | （１）言葉の特徴や使い方についての事項について理解を深める評論教材や学習の手引きが充実している。 | A　話すこと・聞くことについて具体的な場面を想定した幅広い学習活動が示され、十分配慮されている。 | 　主体的対話的で深い学びを実践する数多くの言語活動例が示され、十分配慮されている。 | ・教材収録本数が多く、分野も多岐にわたり、教材選択の幅が広い。 | ・脚注や地図・図版などが適宜掲げられており学習の便宜が図られている。 | ・意欲的に発掘された新教材が数多く掲載されていて清新な印象を受けた。 |
| （２）情報の扱い方について理解を深め、自ら情報を利用して思考するための評論教材や言語活動が充実している。 | B　書くこと書くことの資質・能力に資する教材が充実しており、十分配慮されている。 | ・単元ごとに「単元の目標」が示され、単元を通しての学習の見通しが立つように工夫されている。 | ・手引きや脚問によって理解を深められるよう配慮されている。 | ・評論読解に役立つコラムがよく整理されている。 |
| （３）実社会との関わりを考えるための読書について、教材ごとに著者の主な作品が紹介されており、十分配慮されている。 | C　読むこと論理的な文章や実用的な文章について、根本から問い直し、現代的な視点から論理的思考を育む教材が充実している。 | ・教材ごとに「視点」が示され、教材を通して学習の見通しがたつように工夫されている。 |
| ・教材ごとに「課題」と「言語活動」が示され、資質・能力を身につけるステップが分かりやすい。 |
| ・単元ごとに「実践」が示され、単元を通じて身につける資質・能力が明確である。 |